

活動名称 (40字以内)	おじやり申せ種子島！ 宇宙に最も近いディープな島まるごと体験プログラム(冬編)		
団体名等	種子島 西之表市 / 東京大学総括プロジェクト機構「プラチナ社会」総括寄付講座		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input checked="" type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		9 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	1/28(火)～2/6(木) 10日間	主な活動場所	鹿児島県西之表市 (種子島)
目的	<p>高齢化が急速に進んでいく日本社会で、さらにその先端にいる離島という環境においてその住む人たちはどのような未来を構築するために活動しているのか。離島というひとつの社会における縮図の営みの中に身を置くことで、現場のさらなる現実の厳しさや温度差、一方で豊かな自然と資源、知り得なかった島の潜在力の高さを知ってほしい。島の個性豊かな魅力あふれる人との交流で生まれる本質的な人間性など、これから自分で歩いていく道の大切な通過点として、種子島での体験が皆さんのこれからの考えを深める機会となることを期待していると同時に学術的な知見が現場でどう生かされているのかを知ってほしい。</p>		
具体的な内容 (800字程度)	<p>種子島の現状を知る上でもっとも適しているのは冬なのかもしれない。9月から始まる安納芋の収穫が終了すると、北日本に雪が舞始める12月以降、南の種子島では、サトウキビを積載したトラックが慌ただしく製糖工場と圃場を行き来し始める。また、昔ながらの黒糖づくりを行なう集落では、農業を営む住民が協力して、伝統的な味にこだわりながら作業を行なう光景も見られる。種子島ならではの冬の風物詩である。島の暮らしをゆっくりとじっくり味わえるのも、冬場の体験である。</p> <p>現在、種子島では、大学等と地域の連携のもと自然資本を活かし持続可能な社会モデル構築を目指す「スマートエコアイランド種子島」構想が進められている。この構想では、サトウキビなど島内の植物資源を活用し、付加価値を生み出すとともに、そこから生まれる燃料や電気・熱といったエネルギーを利用して地域に循環させるというものである。</p> <p>本体験プログラムでは、参加者毎の希望に応じた離島の地域社会のありのままの体験に加え、人口減少の進む島の課題に取り組んでいる現場との意見交換、最先端研究プロジェクトの実証現場の訪問、さらには島の将来を担う児童や生徒との交流などを踏まえ、市政への提言を行う機会を設け、幅広い実践の場を提供する。</p> <p>(体験例)</p> <p>行政・・・市長との意見交換会。市役所内の各行政部署での職場体験                  農業・・・農家でのサトウキビ収穫、黒糖づくり、スナップエンドウ等収穫体験、                  和牛のせり見学、酪農体験                  漁業・・・近海でとれた新鮮な魚介類のせり見学                  林業・・・チップ工場の見学、森林現場体験                  医療・福祉・・・医療や高齢者福祉施設を訪問し、離島医療の現状を学ぶ。                  地域で行われている高齢者支援を通じた高齢者等との交流                  観光・・・島内観光地やアニメ聖地巡り                  集落・・・伝統行事や子どもたちとのふれあい学習など、島民の生活感が漂う暮らしを肌で感じる                  環境・エネルギー・・・バイオディーゼル製造実証施設(東北大学等との共同研究)の見学                  教育・・・小学校、中学校、高校を訪問し児童・生徒との交流                  施設・・・九州沖縄農業研究センター(サトウキビ育種)見学                  新光糖業(株)製糖工場(製糖工程、ゼロ・エミッション施設、循環型エネルギー)                  種子島宇宙センター(日程次第でロケット打ち上げを見学できる可能性あり)                  NPOこすもバイオディーゼル製造実証施設(東北大学等との共同研究)</p>		
備考	<p>本プログラムは東京大学総括プロジェクト機構「プラチナ社会」総括寄付講座との連携プログラムになります。</p> <p>「具体的な内容」欄を参考に、種子島でやってみたいことを明記してください。</p>		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 約40,000 円 宿泊費 約30,000 円 ( ) 円 ( ) 円 計 約70,000 円	宿泊場所は、合宿所のようなところでの生活となる予定です。 その他、民泊を取り入れる場合もあります。	
		奨励金額	35,000 円
ウェブサイト等	種子島観光協会ホームページ <a href="http://tanekan.jp">http://tanekan.jp</a> 西之表市役所ホームページ <a href="http://www.city.nishinoomote.lg.jp">http://www.city.nishinoomote.lg.jp</a>		